

〈孤独からの解放〉

詩篇25：12～22

【ダビデ】

どんなに困窮した時でも、主に目を向けて正直に胸の内を告白し、主をほめたたえた。詩篇にはその詩が多くつづられている。

私に御顔を向け、私をあわれんでください。

私はただひとりで、悩んでいます。【16節】

孤独を感じるのにはいくつかの要因がある。

変化 / 孤立 / 敵対 / 拒絶

◆人は心の奥底で深い孤独感を味わい、渇き求めている。聖書にも孤独を抱えた人が何人も登場する。



【主を賛美する少年ダビデ】

◆ダビデは孤独を感じた。しかし一人ではなかった。なぜなら・・・

「私をあわれんでください」と呼びかけることのできる方を知っていたから。

主よ。あなたの道を私に知らせ、あなたの小道を私に教えてください。【4節】

◆孤独におそわれ、道を見失ってしまったような時に、ダビデはその道を示すことのできるお方に求めた。

あなたを仰いでいます / あなたに信頼します / あなたの小道を教えてください

私の目はいつも主に向かう / あなたに身を避けます / あなたを待ち望みます

私の悩みと労苦を見て、私のすべての罪をゆるしてください。【18節】

◆人は罪によって神様との関係が断絶された。結果、人との関係にも問題が生じる。

これが「ひとり悩む」人が直面する問題の根幹にある。

イエスさまこそが、一番の孤独を味わったお方。

拒絶され、敵対され、弟子達にも裏切ら、すべての人から見捨てられた。

最期は、ご自分が愛を注いだ人々によって十字架に架けられた。

イエス様は十字架の上で叫ばれた。

「わが神、わが神。どうしてお見捨てになったのですか。」 マタイ 27 : 46

私たちの理解が及ばない孤独があったはず。

イエスさまは、孤独の極みをなめ尽くされた。

わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。 ヨハネ 14 : 18

わたしは決してあなたを離れず、またあなたを捨てない。 ヘブル 13 : 5

「恥を見ない」→「失望に終わることがない」という表現と同じ。

聖書はこう言っています。「彼(イエスキリスト)に信頼する者は、失望させられることがない。」

ローマ 10 : 11

秘訣は、「道」であるイエスキリストご自身を知ること。

信仰・・・ギリシャ語で「ピステイス」「忠実、誠実」という意味もある。

自分の信念の強さではなく、イエス・キリストの上に望みを置くこと。